

青森県漁船海難防止決起大会開催

主催者挨拶を述べる奈良岡局長



主催者挨拶を述べる植村会長



来賓挨拶を述べる井上部長



大会風景

去る5月30日青森県水産ビル大会議室において、県内から漁協組合長、役員、漁協担当職員、市町村担当職員等約200名が参加し青森県漁船海難防止決起大会が開催された。この大会は、4月19日から24日までの6日間で4件の海難事故が相次いで発生し、4名が死亡・行方不明となったことから、二度とこのような海難事故が繰り返されることのないよう、救命衣着用に対する意識の高揚と啓発を

図り、漁船海難事故の根絶を期することを目的として、青森県と青森県漁船海難防止・水難救済会が開催した。

開催に先立ち、海難事故によりお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、黙祷を行った。

黙祷終了後、主催者挨拶を行い、青森県農林水産部水産局の奈良岡局長、青森県漁船海難防止・水難救済会の植村会長が挨拶を述べた後、青森海上保安部の井上部長の来賓挨拶に続き、漁船海難事故防止について、青森海上保安部の朝田専門官が講演を行った。朝田専門官は、最近の海難事故の事例をスクリーンに映して参加者に説明しながら、漁に出るときは必ず救命衣を着用してくださいと何回も話していた。

最後に、青森県漁船海難防止・水難救済会の熊谷副会長が大会宣言を読み上げた後、大会スローガンを全員で復唱して、救命衣の着用、浜から海難をなくすることを誓った。

大会宣言

本県漁船は、太平洋・日本海・津軽海峡・むつ湾、そして択捉島沖合海域をはじめとする外国水域の気象や海況が大変厳しい海域での操業を余儀なくされていることから、安全操業の確保と海難事故防止を図ることが重要であります。

しかしながら、漁業関係者並びに関係機関の努力にもかかわらず、漁船海難は後を絶たず、尊い人命と貴重な財産が失われており、特に過日、相次いで発生した海難ではたった6日間のうちに4件の漁船海難事故が発生し、4名の浜の仲間が死亡ないしは行方不明となったことは、極めて残念で痛恨の極みであり、また、残されたご家族の心中を察するに余りあるところです。

今日の「青森県漁船海難防止決起大会」に出席した私たちは、海難事故ゼロを達成するため、漁船海難防止活動、中でも海中転落を主因とする死亡・行方不明ゼロを目指した救命胴衣着用運動を積極的に推進し、浜に浸透させていくことを、ここに強く宣言します。

平成18年5月30日

青森県漁船海難防止起大会